## (19)日本国特新庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

## 特開平6-46728

(43)公開日 平成6年(1994)2月22日

(51)IntCL<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

A 0 1 M 1/14

A 8602-2B

審査請求 未請求 請求項の数4(全 3 頁)

(21)出願番号

特願平4-257533

(22)出顯日

平成 4年(1992) 7月30日

(71)出願人 000003148

東洋ゴム工業株式会社

大阪府大阪市西区江戸堀1丁目17番18号

(72)発明者 久岡 正明

兵庫県宝塚市寿町1・7

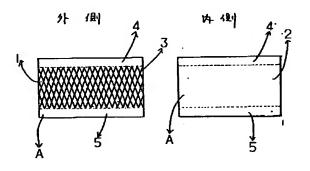
## (54) 【発明の名称 】 樹木害虫捕獲材

(57)【要約】

(修正有)

【構成】 外側の基材A表面1には、上部外周部4と下 部外周部5を除いた中央部分にヘツシヤンクロス3、又 は寒冷沙を粘着剤で付着した粘着層を形づくる。内側の 基材A表面2には粘着剤が付着された粘着層を形づく 3.

【効果】粘着層を有する害虫捕獲材が風雨に弱い欠点を なくし、両面に粘着層を設けることにより従来より2倍 の効果をあげる。



Best Available Copy

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 生木樹皮の外表面と相接する面と外気に 接する面に粘着層を有する基材を被覆締着したことを特 **衛とする樹木害虫捕獲材。** 

【請求項2】 紙の両面又は片面に寒冷沙又はヘッシャ ンクロスの如き粗織物布を付着させた基材を用いること を特徴とする請求項1記載の樹木害虫捕獲材。

【請求項3】 不織布の両面に粘着層を有する基材を用 いることを特徴とする請求項1記載の樹木害虫捕獲材。

部及び下部の外周部が2~3センチメートルにわたって 粘着層をもたないことを特徴とする請求項1,請求項2 及び請求項3記載の樹木害虫捕獲材。

### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】生樹木の害虫捕獲材に関する。 [0002]

【従来の技術】生木樹皮の外表面に相接する面に粘着層 を有する基材を樹木の成長方向に対して平行になるよう に多角形に折曲げ加工したものを締着して使用してい た。

#### [0003]

【従来技術の問題点】紙製の片面に粘着層をつけた害虫 捕獲材は風雨に弱い欠点がある。風雨に強くするために **税水加工を行うと粘着剤の耐久性に問題がでてくる。又** 樹皮と基材との間だけの害虫捕獲では外気との接触部の 害虫は捕獲できないという欠点があった。

#### [0004]

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するた めに鋭意研究した結果、本発明に到達したものである。 すなわち、生木樹皮の外表面と相接する面と外気に接す る面に粘着層を有する基材を被覆締着した方法であり、 両面に粘着層を設けることにより従来より二倍の効果を あげようとするものである。又紙の強度をもたすため、 紙の両面又は片面に寒冷沙又はヘッシャンクロスの如き **和総物布を付着させた基材を用いる方法を用いる。 和総** 物を用いることによって害虫の付着による捕獲が容易に なるという副次的効果もある。さらに、不織布の両面に\* \*粘着層を有する基材を用いることも可能である。加えて 作業性を考慮して、両面に粘着層を有する基材の上部の 外周部及び下部の外周部が2~3センチメートルにわた って粘着層をもたない部分を設ける。

2

【0005】本発明を図面に基いて説明する。図1はへ ッシャンクロス3を用いた基材Aの側面図で左側は外側 の側面図で外側の基材表面1には上部外周部4と下部外 周部5を除いた中央部分にヘッシャンクロスを粘着剤で 付着して粘着層を形づくっている。粘着剤は特定しない 【請求項4】 両面に粘着層を有する基材の上部の外周 10 が3ケ月空気中で暴露しても変質しない材料を使用す る。右側の内側の基材表面2には粘着剤が付着されて粘 着層を形成している。内側の表面にヘッシャンクロスや 寒冷沙を粘着剤と共に付着して粘着層を形成してもよ 11.

> 【0006】図2は寒冷沙を用いた基材Aの関面図で左 側は外側の側面図で外側の基材表面1には上部外周部4 と下部外周部5を除いた中央部分に寒冷沙を粘着剤で付 着して粘着層を形ち作っている。右側の内側の基材表面 2には粘着剤が付着されて粘着層を形成している。内側 20 の表面には寒冷沙やヘッシャンクロスのような粗織物を 粘着剤と共に付着して粘着層を形成してもよい。

【0007】上記とは別に基材に不織布を使用してその 表面に粘着剤を塗着させて両面に粘着層を作り害虫捕獲 材として樹皮に締着させることも可能である。

#### [8000]

【作用】両面に粘着層を付着した基材の両面には剥離紙 で粘着層を被覆しておき、生木樹皮に当接する基材の剥 離紙をはがしながら樹皮幹を一周して余裕をみて締着す る。締着後に外気に触れる基材の外側部の粘着層上の剥 離紙をはぎとる。生木樹皮幹と基材内側の締着状態と害 虫の通過可能な空隙の有無を点検する。

#### [0009]

【発明の効果】生木樹皮幹周1米の木の地上2米,3 米、4米の所に幅35センチメートル、上部外周部2. 5センチメートル、下部外周部2.5センチメートルの 所には粘着層のない、両面ヘッシャンクロスを粘着剤と 共に付着した基材を巻着し、剥離紙を取り外し、3ケ月 後に害虫捕獲数を数えた。

	<b>柏</b> 省厝Щ慎			圳慎	智以佛授致
地上2米	内側	3 0cm	×	100c∎	90匹
	外側	3 0 c∎	×	100c∎	60匹
地上3米	内侧	3 0c∎	×	9 0c∎	70匹
	外側	· 3 0c∎	×	9 0c∎	70匹
地上4米	内側	3 0 c∎	X	8 0c∎	50匹
	外側	3 0cm	X	80c∎	80匹

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 ヘッシャンクロスを用いた外側と内側の基材の 側面図。

【図2】寒冷沙を用いた外側と内側の基材の側面図。

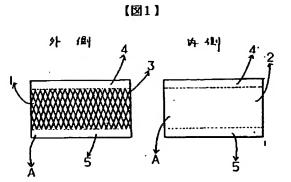
【符号の説明】

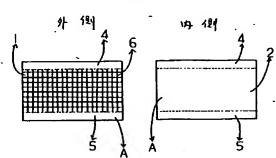
※1 外側の基材表面

- 2 内側の基材表面
- 3 ヘッシャンクロス
- 4 上部外周部

**※50 5 下部外周部** 

6 寒冷沙





【図2】

PAT-NO:

JP406046728A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 06046728 A

TITLE:

MEMBER FOR CATCHING TREE INSECT PEST

PUBN-DATE:

February 22, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HISAOKA, MASAAKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TOYO TIRE & RUBBER CO LTD

N/A

APPL-NO:

JP04257533

APPL-DATE:

July 30, 1992

INT-CL (IPC): A01M001/14

US-CL-CURRENT: 43/126

#### ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the member exhibiting a more excellent weather resistance

than in the conventional one by covering a base material in which both the side

coming into contact with the outer surface of a raw tree bark and the side

coming into contact with the outside air are each coated with an adhesive layer  $% \left( 1\right) =\left( 1\right) +\left( 1\right) +\left($ 

and fastening them.

CONSTITUTION: The objective catching member is composed of a base material

(A) (prepared by bonding a rough fabric 3 such as a cheese cloth or a hessian

cloth to one side or both the sides of paper so that a peripheral part 4 not

having a tacky layer over 2 to 3 cm width may be formed at each of the lower

and upper peripheries) in which one side or both the sides are each coated with

a tacky layer and a release paper covering one side or both the sides thereof.

In addition, this member is applied to a raw tree by going round the trunk

while removing the release paper covering the base material contacting with the

raw tree, fastening it leaving a surplus and subsequently removing the other

release paper covering the tacky layer on the outside part of the base material

in contact with the outside air.

COPYRIGHT: (C) 1994, JPO& Japio

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.